

第3回鹿島市下水道事業審議会

～ 公共下水道事業経営戦略と現状等について～

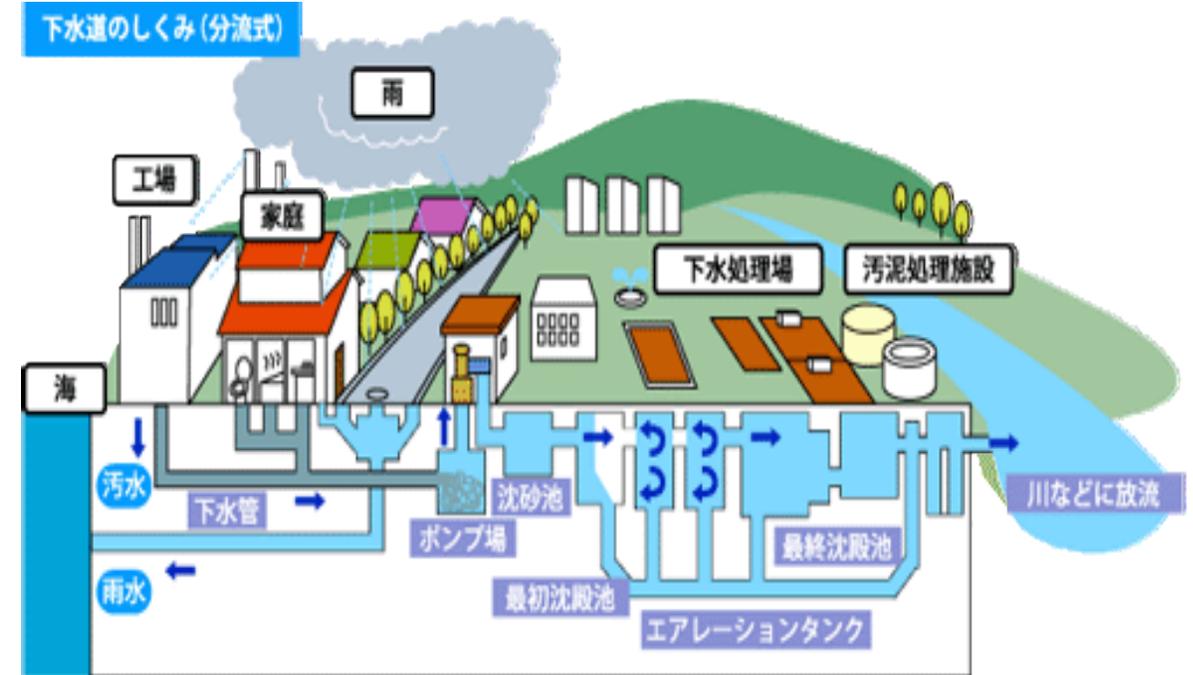
鹿島市 建設環境部 環境下水道課

令和6年4月23日(火)

下水道事業のこれまでの経緯

鹿島市下水道事業の取り組み

鹿島市公共下水道全体計画	(S59年度)
鹿島市生活排水処理施設整備構想	(H26年度)
鹿島市公共下水道全体計画変更	(H31年度)
鹿島市公共下水道事業計画 (最新)	(R 5年度)



- ・生活環境の改善
- ・公共水域の水質保全
- ・市街地の水害防止

汚水処理に関する事業

雨水対策に関する事業

【課題】 人口減少や、節水機器の普及による下水道収益の伸び悩み
既設の施設の老朽化に伴う更新費用の増大

下水道事業のこれまでの経緯

継続的かつ安定的な経営実現に向けた国の通達 **(公営企業会計の適用)**

- **地方公営企業法の適用に関する実務研究会（報告書）**
（平成27年1月）
- **公営企業会計の適用の推進について**（平成27年1月）
- **公営企業会計の適用の推進に当たっての留意事項について**
（平成27年1月）
- **公営企業会計の適用の更なる推進について**（平成31年1月）
- **公営企業会計の適用の推進に当たっての留意事項について**
（平成31年1月）
- **公営企業会計の適用の更なる推進について**（令和6年1月）

下水道事業のこれまでの経緯

継続的かつ安定的な経営実現に向けた国の通達 **(経営戦略の策定)**

- **公営企業の経営に当たっての留意事項について**（平成26年8月）
- **「経営戦略」の策定推進について**（平成28年1月）
⇒ 高資本対策に要する経費にかかる地方交付税措置の要件
- **「経営戦略」の策定・改定の更なる推進について**（平成31年3月）
⇒ PDCAサイクルを通じて質を高めることが求められる
- **「経営戦略」の改定推進について**（令和4年1月）
⇒ PDCAサイクルを通じた質の向上（地方交付税措置の要件）

下水道事業のこれまでの経緯

管渠施設の新設にかかる国庫補助金の交付要件

下水道事業における収支構造適正化に向けた取組の推進についての留意事項
(令和2年7月)

下記に該当する場合は、汚水処理に関する事業について、社会資本整備総合交付金の重点配分の対象とはならない。

令和7年度以降

供用開始以降30年以上経過する企業体で **31年目 (H6年供用開始)**

① 使用料単価150円/m³未満 (税抜) **148円/m³**

② 経費回収率80%未満 **61.58% (R4決算)**

③ 15年以上使用料改定を行っていない **18年経過**
(前回の料金改定H18)

下水道事業のこれまでの経緯

継続的かつ安定的な経営実現の取組

平成29年 3月 鹿島市公共下水道事業経営戦略

⇒ 汚水事業を縮小した20年間の投資・財政計画の策定

平成31年 4月 鹿島市公共下水道事業全体計画の変更

⇒ 汚水事業の縮小 678ha → 523ha (△155ha)

令和 2年 4月 公営企業会計（地方公営企業法の適用）

⇒ 経営状況や財政状況の明確化と正確な資産管理が可能

令和 5年 8月 鹿島市公共下水道事業経営戦略の見直し

⇒ 公営企業会計3年間の実績に基づく10年間の投資財政計画を策定

⇒ 現状の使用料では一般会計の負担増を抑制することが困難

1. 経営戦略の目標と進捗管理

鹿島市公共下水道事業経営戦略より
(審議会資料1-8、1-9)

1-1 中期目標 (R15年度)

【基本施策 (改善の取組み)】

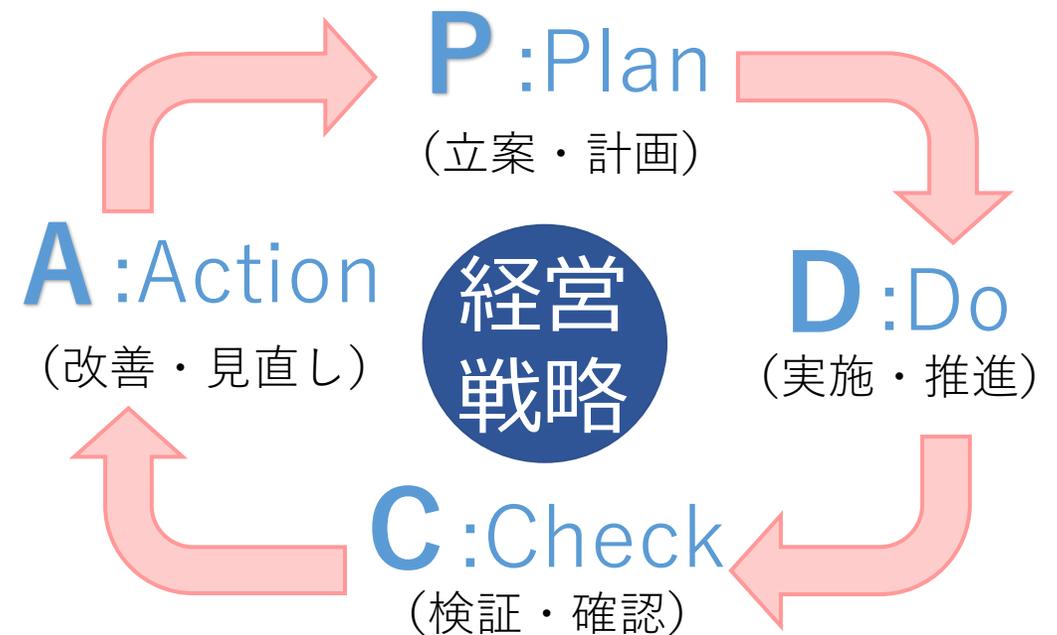
- ・ 接続促進による水洗化率の増加
- ・ 下水道使用料収入の増加、経費削減による経費回収率の向上
- ・ 財政の健全化による基準外繰入金の削減
など

【目 標】

水洗化率 : 85% 以上

経費回収率 : 90% 以上

1-2 進捗管理

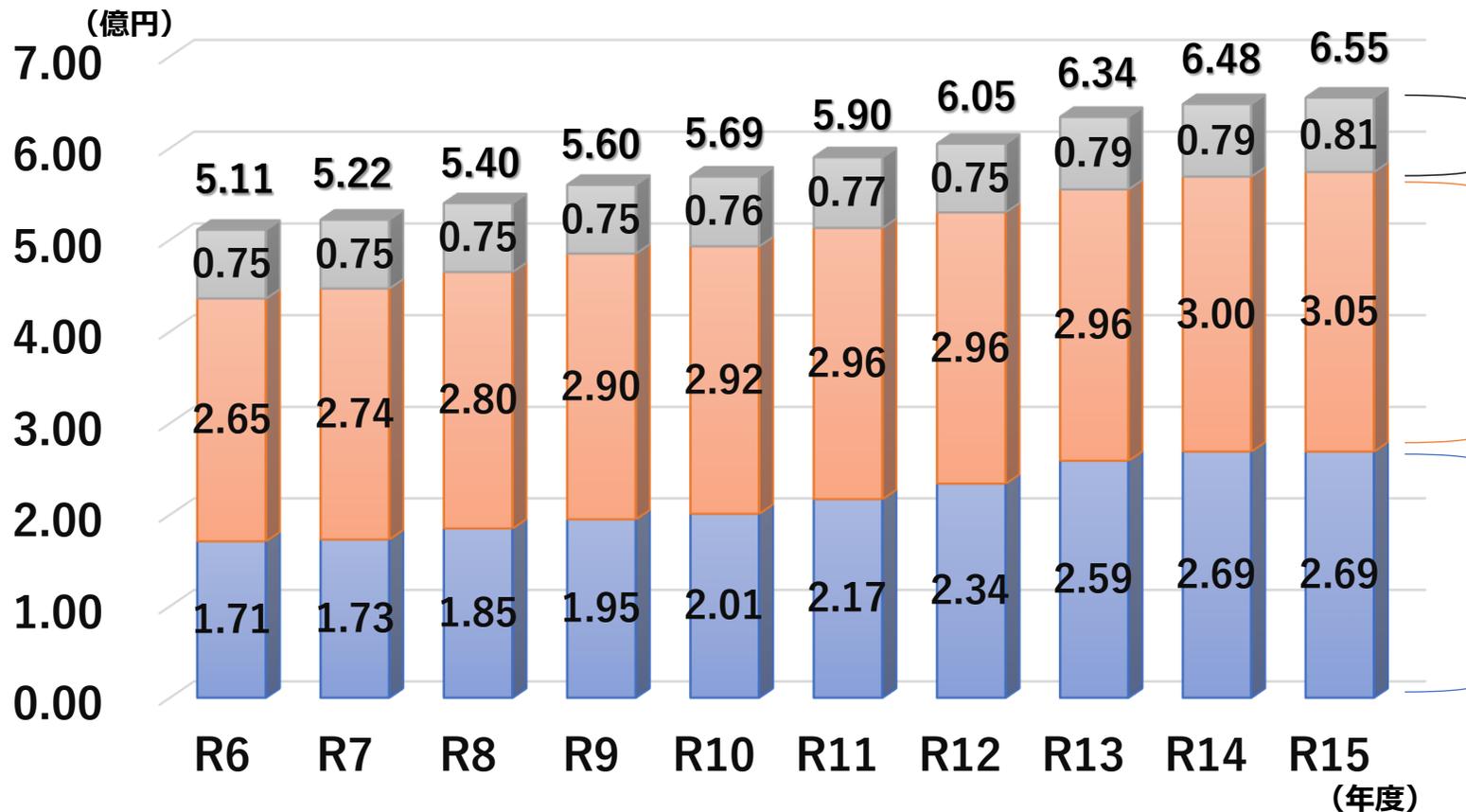


審議会を開催し目標達成に向けて事後検証や見直しを3年から5年毎に行う(ローリング)。

2. 経営戦略による将来の見通し

2-1 一般会計繰入金の見通し

鹿島市公共下水道事業経営戦略より
(審議会資料1-8、1-9)



基準外(汚水)繰入金:
下水道使用料収入が汚水事業の維持管理費に不足する額を補てんする繰入金
⇒ 接続率の増に対する維持管理費の増

基準内(汚水)繰入金:
汚水事業の施設整備費にかかる繰入金
⇒ 管渠の新設(微増)
⇒ R5~R7浄化センター改築更新(増)

基準内(雨水)繰入金:
雨水対策費にかかる繰入金
⇒ ポンプ場等老朽施設の更新(増)

2. 経営戦略による将来の見通し

2-2 経費回収率の見通し

【収入】

污水管渠の新設（汚水処理量の増加）に伴う下水道使用料収入の増加

【支出】

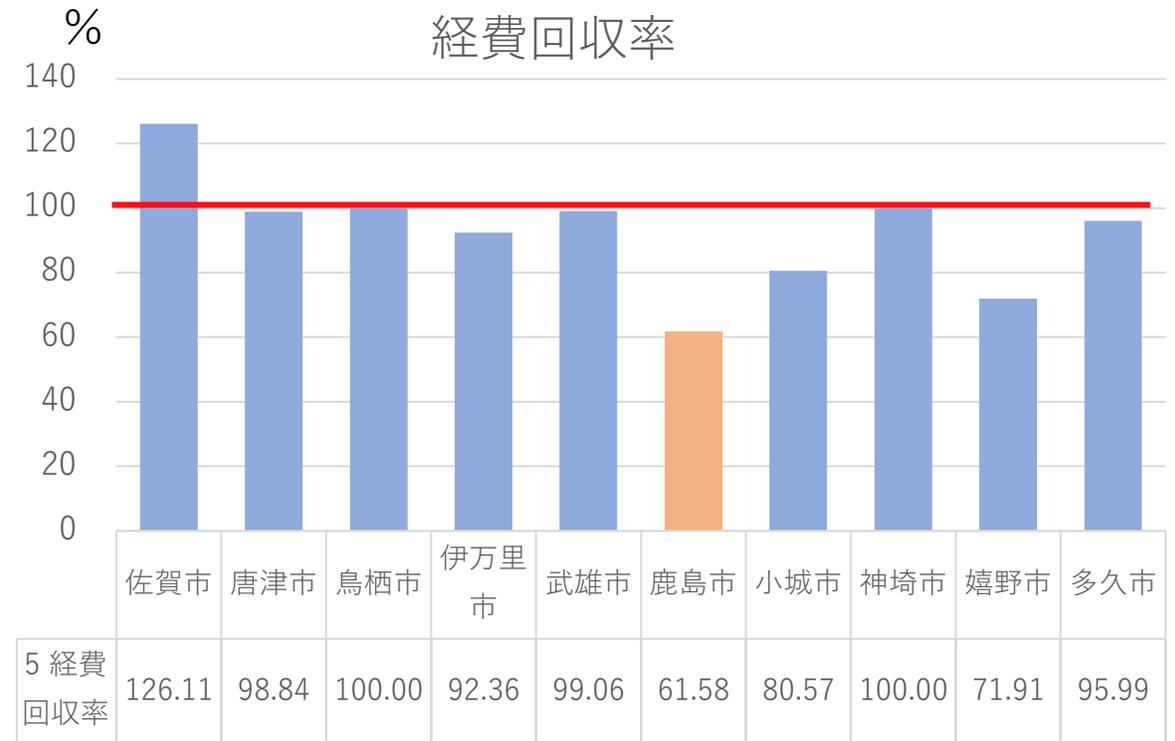
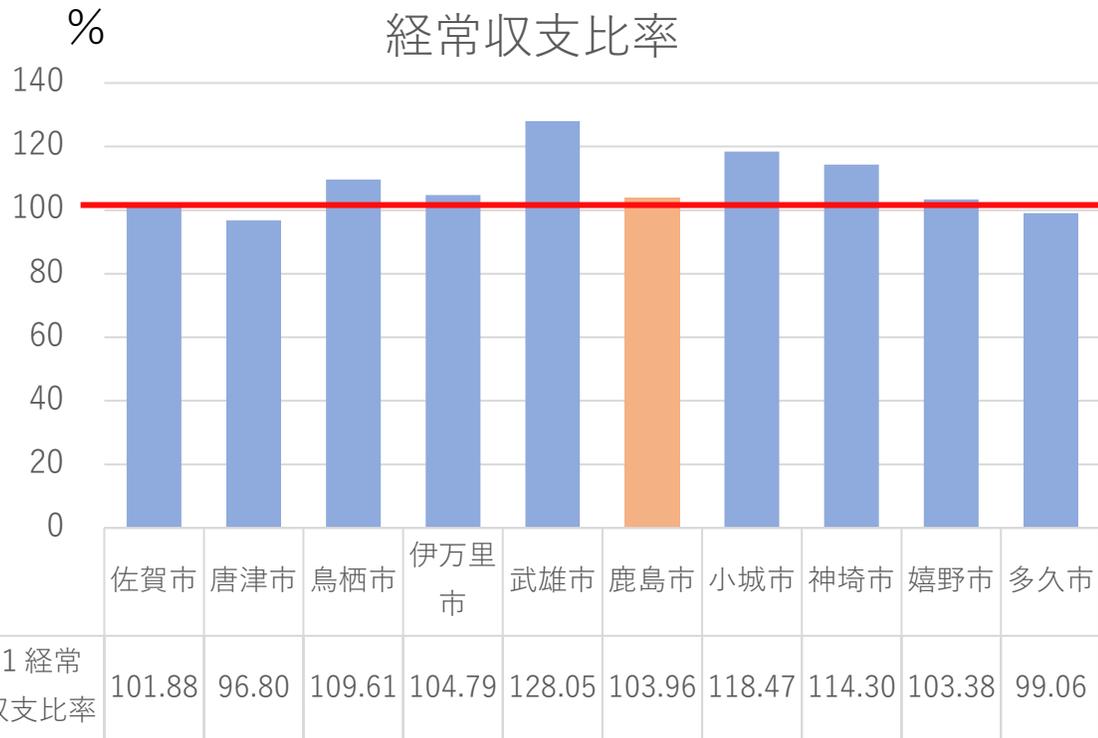
物価・人件費の増に伴い汚水処理にかかる費用の増加

⇒ 現行の下水道使用料のままでは経費回収率は横ばい



3. 県内他市との経営比較

3-1 県内10市での比較（経常収支比率、経費回収率）

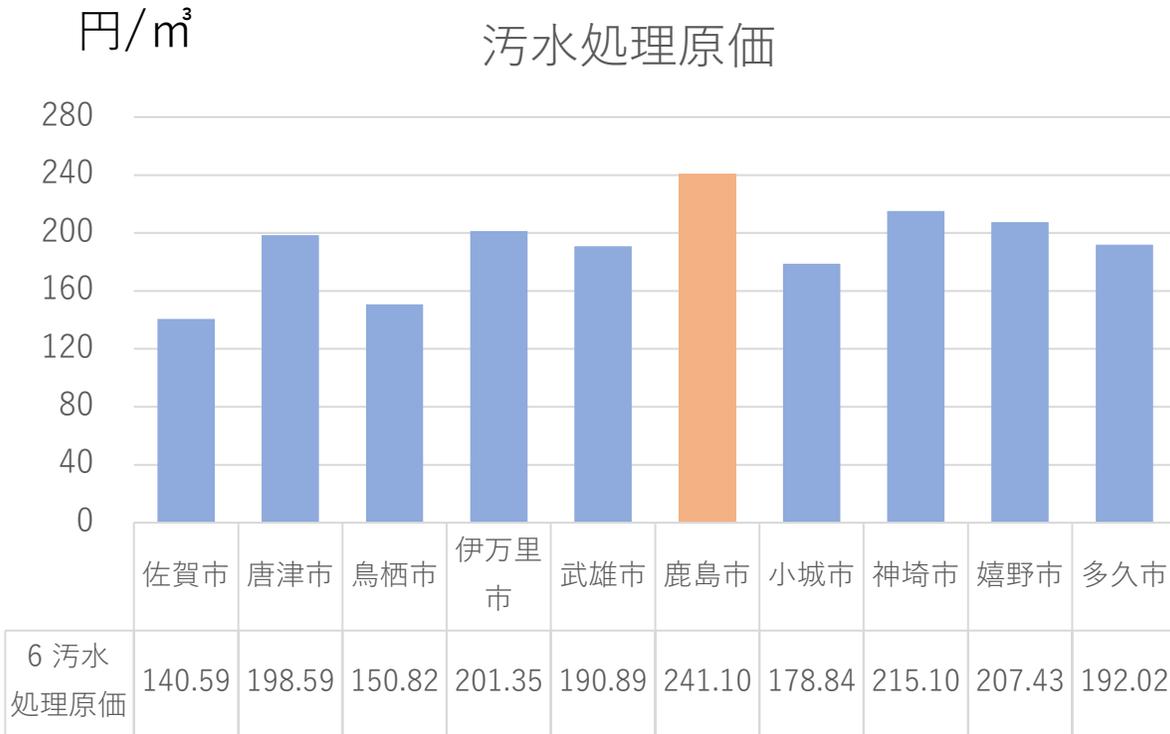


不足する財源を一般会計からの繰入金で賄っているため損失を生じていない。

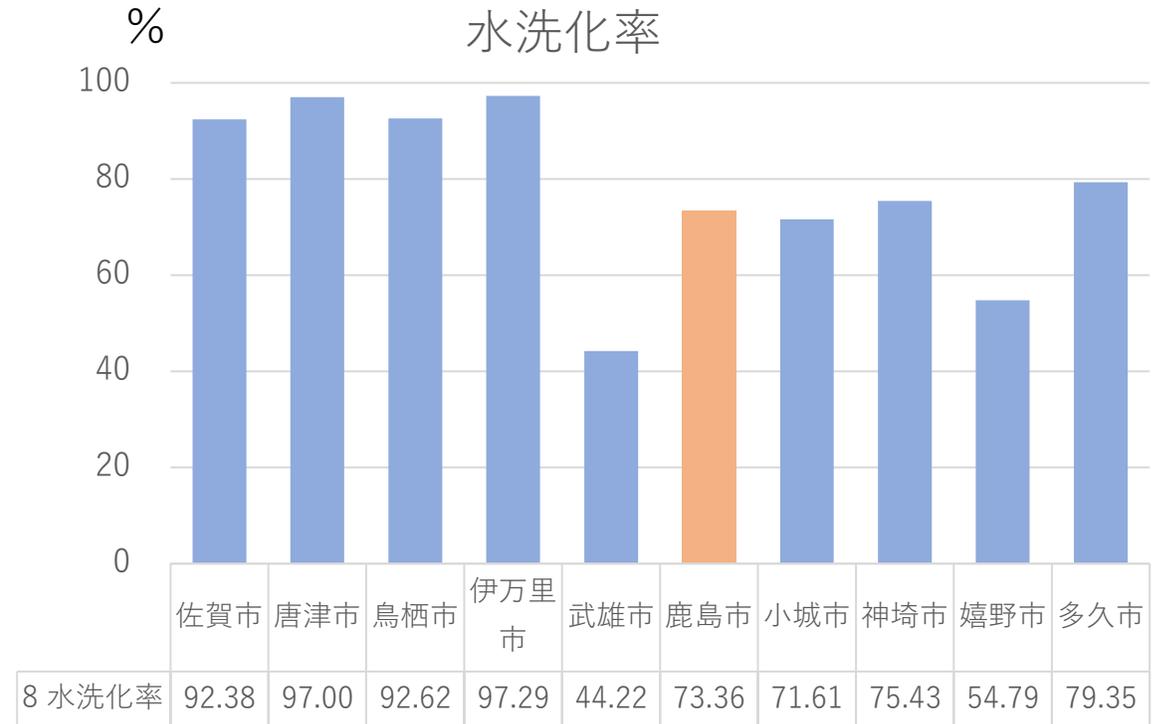
他市と比較して費用に対する収益が不足している。

3. 県内他市との経営比較

3-2 県内10市での比較（汚水処理原価、水洗化率）



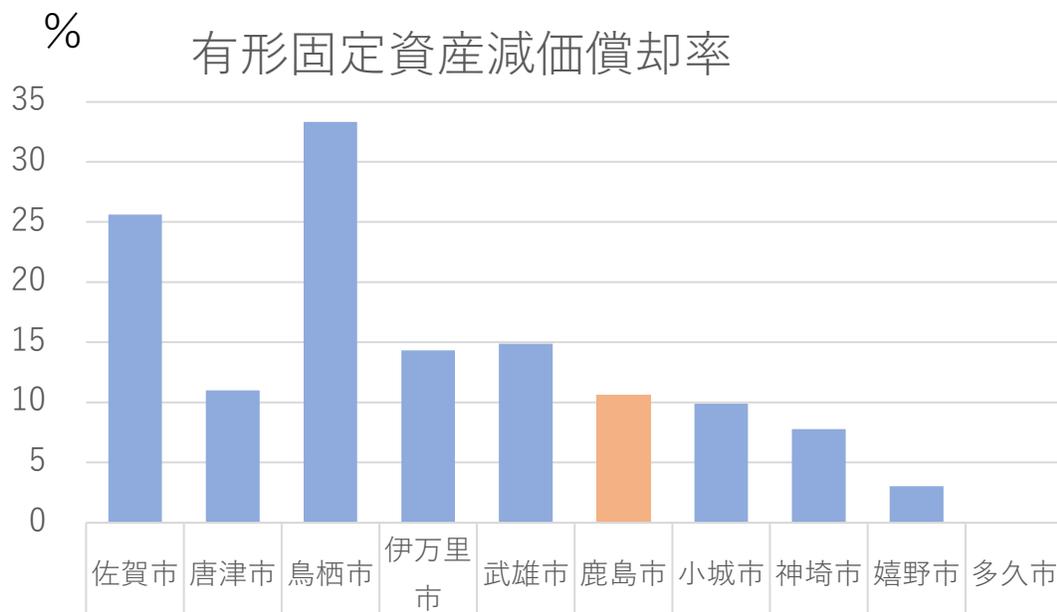
他市と比較して汚水の処理にかかる原価が高い。



低くはないが、今後も水質保全や使用料収入増の観点から向上を進めていく必要がある。

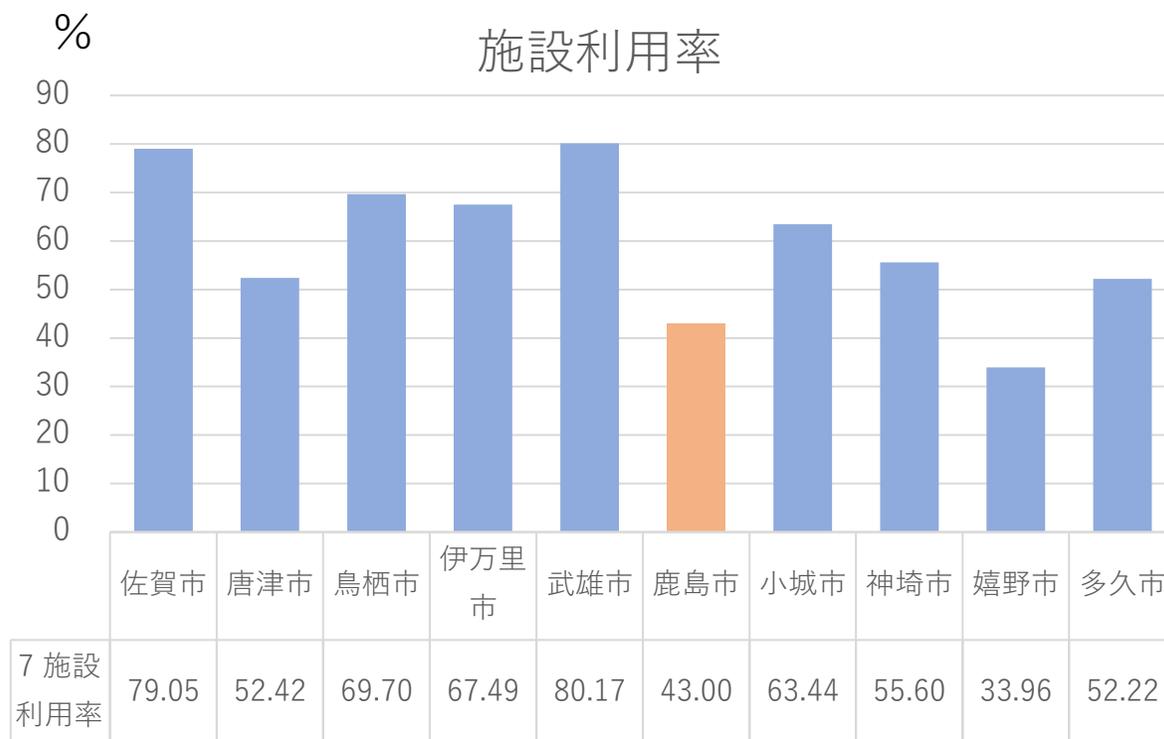
3. 県内他市との経営比較

3-3 県内10市での比較（有形固定資産減価償却率、施設利用率）



9 有形固定資産減価償却率	25.61	10.99	33.32	14.33	14.89	10.60	9.89	7.78	3.04	0.00
---------------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	------	------	------

早くから下水道事業に取り組み整備率が高い自治体は施設の老朽化が進行している。

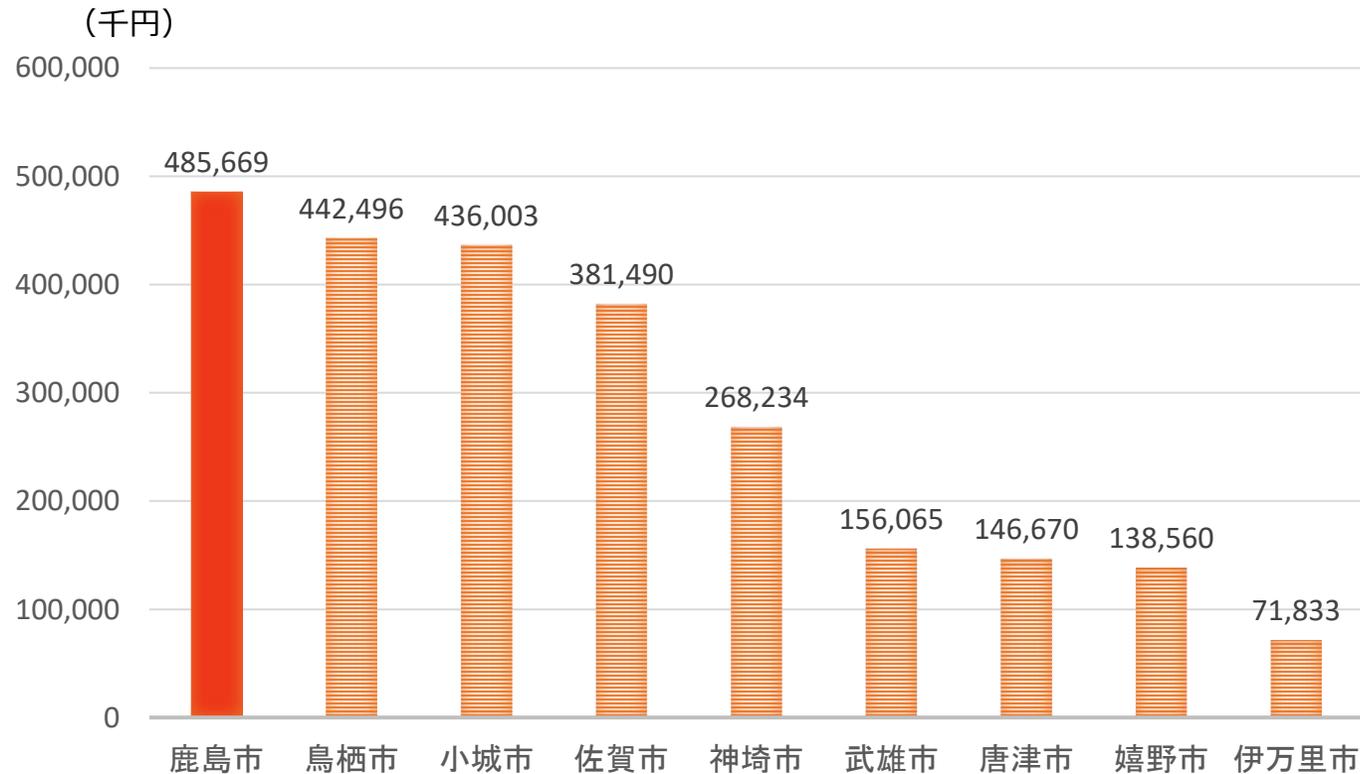


7 施設利用率	79.05	52.42	69.70	67.49	80.17	43.00	63.44	55.60	33.96	52.22
---------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

他市と比較して施設の稼働率が低い。

3. 県内他市との経営比較

3-4 公共下水道事業の収益的収入における他会計繰入金の状況



鹿島市では市街地の雨水対策を下水道事業で行っているため、収益的収入への他会計繰入金は多い。

令和4年度市町財政概要（佐賀県総務部市町支援課）
第49表（p.284）をグラフ化して作成

再掲

2. 経営戦略の目標と進捗管理

鹿島市公共下水道事業経営戦略より
(審議会資料1-8、1-9)

2-1 中期目標 (R15年度)

【基本施策 (改善の取組み)】

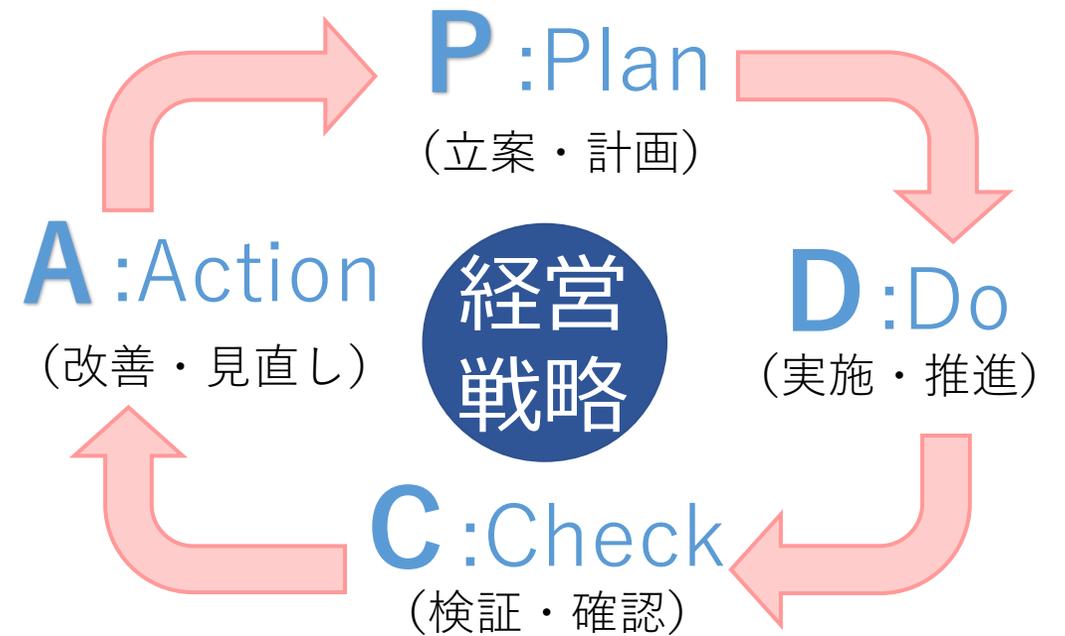
- ・ 接続促進による水洗化率の増加
- ・ 下水道使用料収入の増加、経費削減による経費回収率の向上
- ・ 財政の健全化による基準外繰入金の削減
など

【目 標】

水洗化率 : 85% 以上

経費回収率 : 90% 以上

2-2 進捗管理



審議会を開催し目標達成に向けて事後検証や見直しを3年から5年毎に行う(ローリング)。